



宿泊できるインсталレーション作品



新たな「空」を創造し、生活の中で向き合う祈りのかたちを発信

岩室温泉の交流人口増をめざし、温泉地の誘客・市内中心部との対流がうまれるきっかけとして、ゆもとや旅館の客室を現代アートチームの目【mé】と地元の伝統工芸「三条仏壇」が作品化。泊まりながら楽しめるアート作品とした。秘める文化や歴史、自然に視点を向けたキュレーションを行い、その地域ならではの魅力や特長が活かされた。「祈るための空間を残したい」という想いは、旅館滞在という非日常の中に異質にマッチし、作品と空間、滞在する時間との間で心象に残る展示になった。新潟県内で行われる「大地の芸術祭」「水と土の芸術祭」を満喫する旅の拠点として

「空壇×ゆもとや」は芸術祭鑑賞の付加価値を提案できたと思う。地域と共に創するプロジェクトとして、地域の特産や資源を活かし、人に喜ばれ、地域貢献するプロジェクトの一環になった。プロジェクトを実施してみて、アーティストと地元伝統工芸と繋がれたこと

は大きな財産になり、宿泊に絡めた挑戦的な取組ができたことも大きく、これからもアーティストたちとつながっていきたい。

■ 目【mé】

個々のクリエイティビティを特性化し、連携を重視するチーム型芸術活動。中心メンバーは、アーティストの荒神明香氏、ディレクターの南川憲二氏、制作統括の増井宏文氏の3名。果てしなく不確かな現実世界が実感に引き寄せられる体験を作品として展開。

■ 三条仏壇

北陸随一の堂宇伽藍を持つ本願寺別院(東別院)の造営に端を発する。各宗派の寺院内陣を正統的に模した宮殿造りや、趣向の凝らされた手打ち金具、天然漆を用いた格調高い塗りに本金の優雅な蒔絵など、確かな伝統技術に裏打ちされたものづくりを行う。

●7月14日(土)~10月8日(月・祝) 展示(岩室温泉 ゆもとや)